

2026 第64回 技能五輪全国大会

家具職種

Face Mark の解説資料（公表）

1) JBG (Joint Before Glueing : 接着前審査)

JBG審査の際に、部材の前後左右が判別できるための勝手墨が付されていることを必須とする。この勝手墨は、手描きあるいはマスキングテープ貼り、いずれも可とする。

【2023競技課題「注意事項および仕様」より】

- 『木工工作法 四訂』（令和2年発行）では、日本式と洋式の勝手墨の例（p.151）が紹介されています。
- 公表している「競技職種実施要領」（6 実施要領）において『木工工作法』の記載内容を引用していますので、この記述について、補足説明をします。

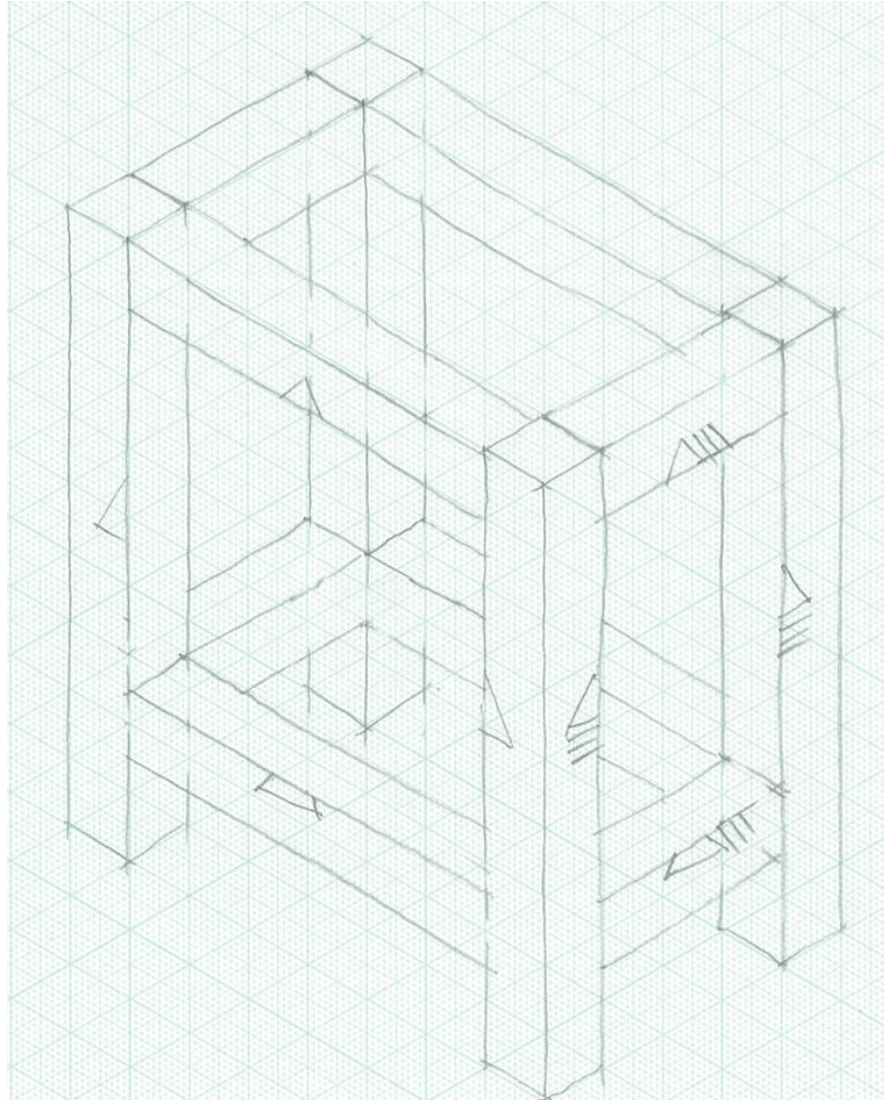
2) Face Mark (フェイス・マーク)

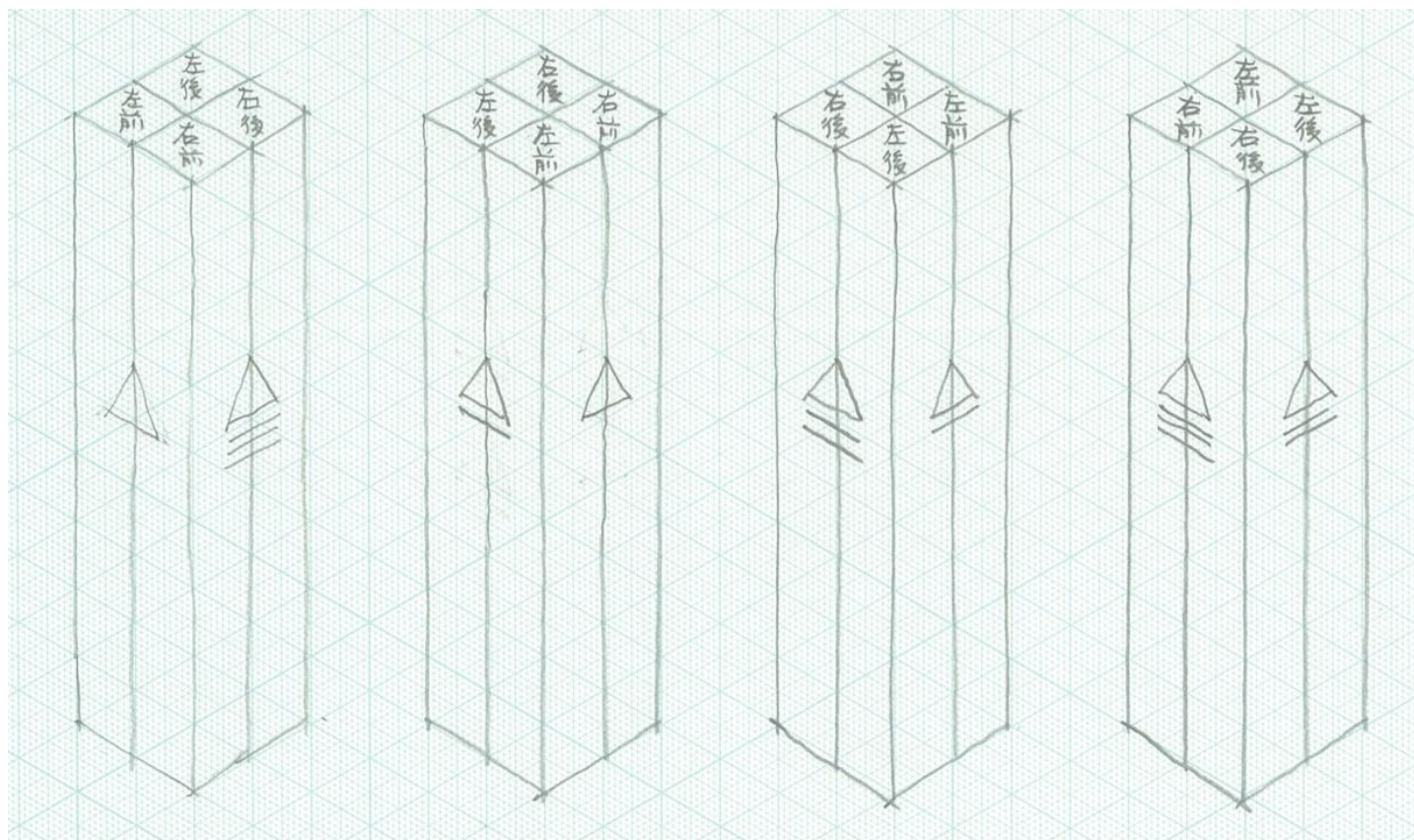
- 洋式の勝手墨には、大きく分けて、次の3種類があります。
 - ① Face Mark → 三角印 (△) または三角と直線を組み合わせた印
 - ② Face side → pig tail (くるっとした線) → 日本式でいう第一基準面
 - ③ Face edge → ∧ や × 印で表す → 日本式でいう第二基準面

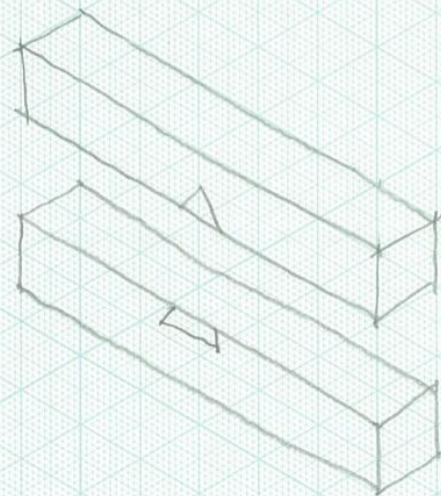


- 今回の技能五輪全国大会課題で、**選手のみなさんに要求している「勝手墨」は、①の Face Mark です。**
- **Face Mark** は、その部材の前・後・左・右が判別できるようにするために描かれます。
- **Face Mark** もしくは **Face Mark** と同じ目的で記す墨の付け方は、事業所、作り手によってそれぞれだと思いますが、技能五輪全国大会では、国際大会の審査基準に則した **Face Mark**の付け方を満点として評価します。
- 次のページから、脚部と引出し部の **Face Mark** の付け方を、具体的に図解します。

3) 脚部のFace Mark

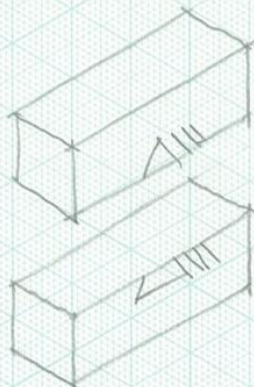






正面
(見付面)

台輪、雲の勝手墨



右側面

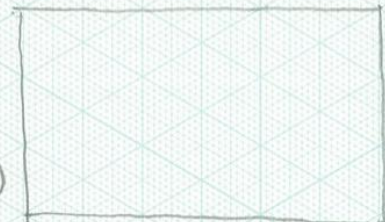
※ 脚の勝手墨と
同じマーキングを使う

≡ → ≡ (同じとみなす)

背面

≡ (≡)

左 ≡
(≡)

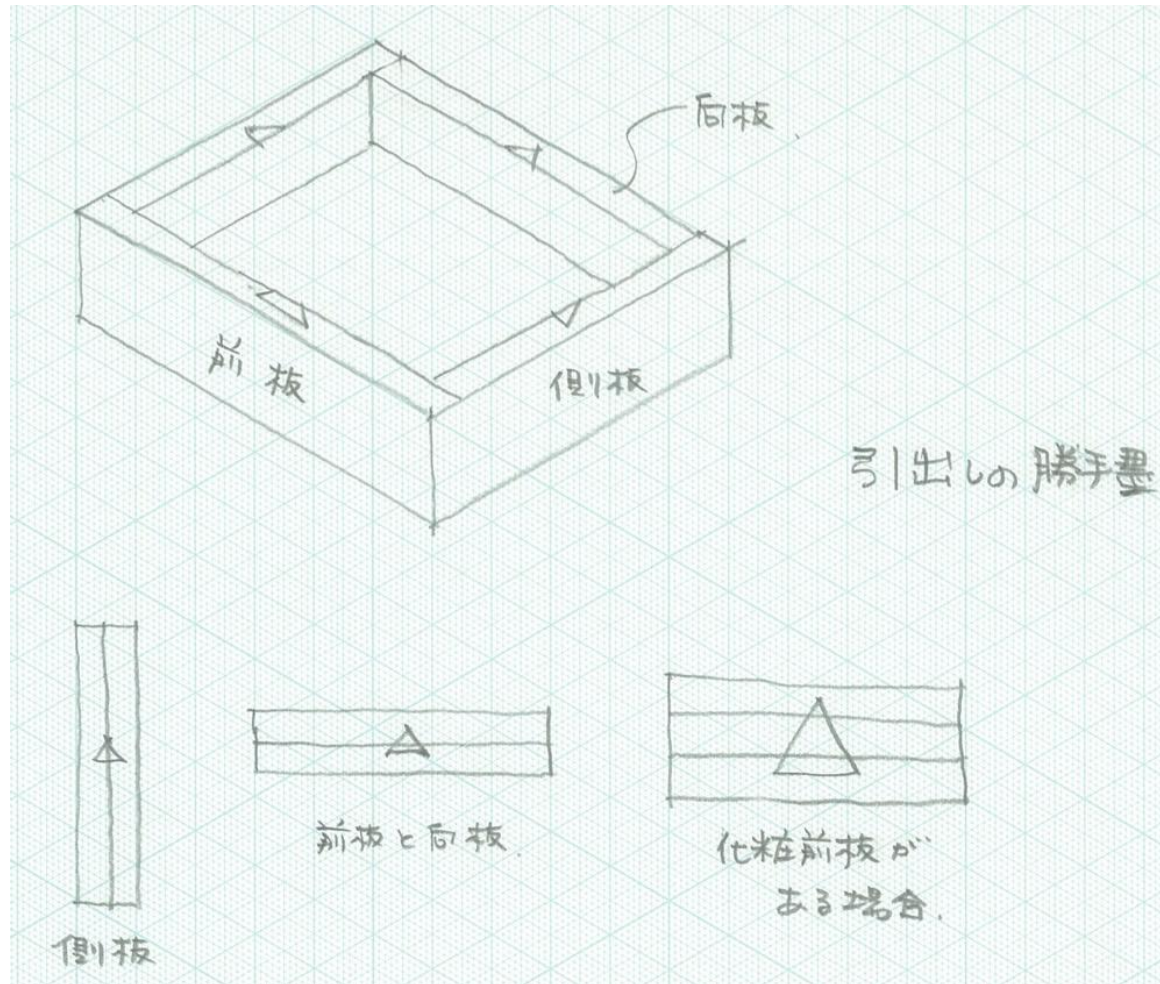


右 ≡
(≡)

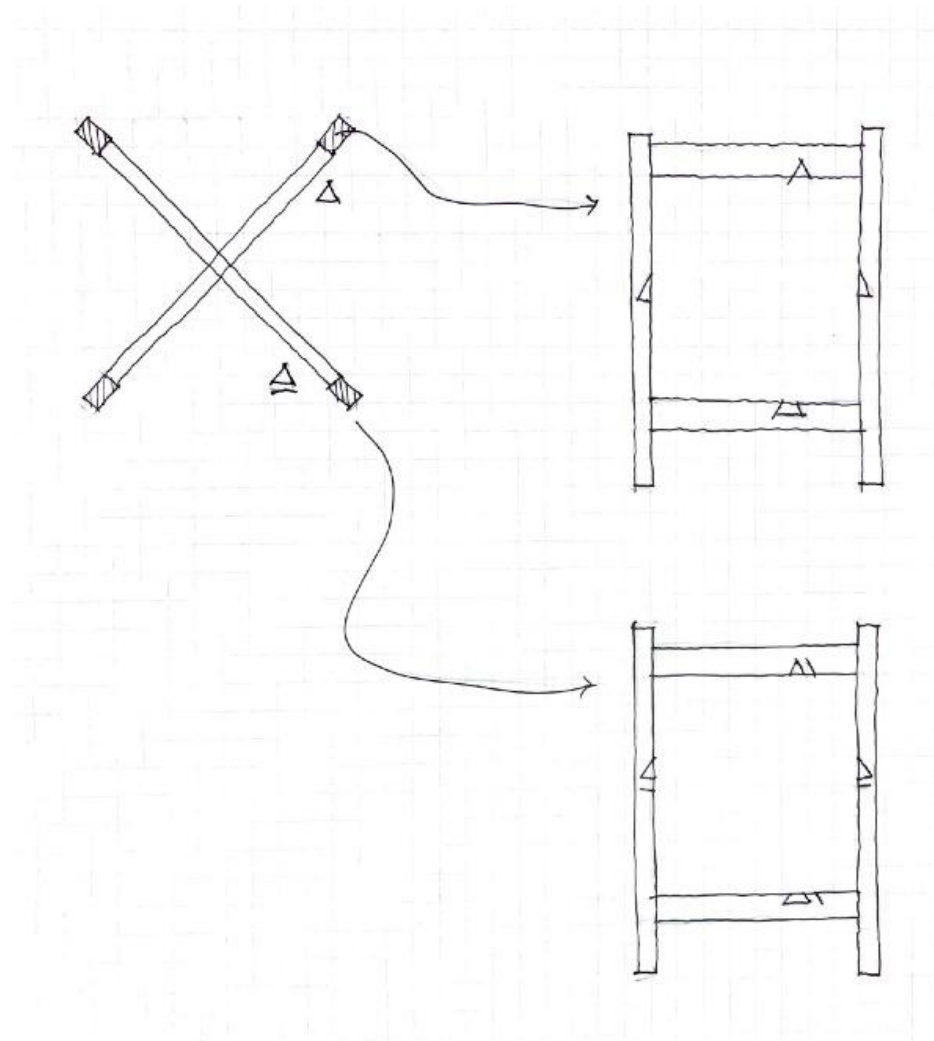
△

正面

4) 引出し部のFace Mark



5) 正面を向かない脚部の例



- **Face Mark** は、接合部の**JBG**の時に付けられている必要があります。
- **JBG**では、接ぎ手・組み手の審査（嵌合度審査）を行います。そのため、接ぎ手・組み手の調整ができている必要があります。部材の表面が最終研磨まで完了している必要はありません。
- もし、最終研磨まで終わっている部材を**JBG**に提出する場合は、**Face Mark**をマスキングテープ貼りしてください。